

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	関講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	果樹園芸学特論 I			実務経験		Active・L ○
科目コード	611100	単位数	2単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	前田 隆昭					
授業概要	果樹と一言で言っても温帯から熱帯まで幅広く存在する。本講義では、各々の果樹について解説するとともに、最新の研究成果を提示しながら科学的に講義を進めていく。また、各果樹の生産場面における栽培技術的特徴や問題点を紹介することにより、応用学問としての理解をさらに深めていく【知識・理解の育成】。					
関連する科目	履修後は果樹園芸学特論Ⅱを履修することが望ましい。					
授業の方法と進め方	毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行う【知識・理解の育成】。その後、授業を始める。授業はパワーポイントを用いて行う。本授業はディスカッション、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式で実施する【専門分野の知識・技能の育成】【コミュニケーション能力の育成】。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の進め方についてガイダンス授業の概要および進め方について説明する。 2. 落葉果樹 1 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 3. 落葉果樹 2 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 4. 落葉果樹 3 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 5. 落葉果樹 4 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 6. 常緑果樹 1 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 7. 常緑果樹 2 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 8. 常緑果樹 3 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 9. 常緑果樹 4 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 10. 常緑果樹 5 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 11. 熱帯果樹 1 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 12. 熱帯果樹 2 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 13. 熱帯果樹 3 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 14. 熱帯果樹 4 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 15. 熱帯果樹 5 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 					
授業の達成目標	最先端の果樹園芸学の研究や国内の先進農家の栽培上の問題を知ることにより、現在の果樹園芸が抱える諸問題について、どのように解決したらよいか自ら考えるようになることを目標とする【専門分野の知識・理解の育成】。					
授業時間外の学修	次回、講義で使用する文献を配布するので、事前に予習するとともに、講義後もきちんと復習すること(約1時間)。					
課題に対するフィードバック	小テストについては終了後解説する。		評価方法・基準		受講態度(50%)、課題提出(50%)	
テキスト	特になし					

参考書	随時、文献を配布する。
備考	